

2026

2026.04 ▶▶▶ 2027.03

MIYAZAKI-GAP カレンダー



4

APRIL
卯月

2026 / 令和 8 年



3

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

5

S	M	T	W	T	F	S
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						



	二十四節気等	気象の変化	農業散布記録	施肥記録	収穫・出荷記録
1	水		1	1	1
2	木		2	2	2
3	金		3	3	3
4	土		4	4	4
5	日	清明	5	5	5
6	月		6	6	6
7	火		7	7	7
8	水		8	8	8
9	木		9	9	9
10	金		10	10	10
11	土		11	11	11
12	日		12	12	12
13	月		13	13	13
14	火		14	14	14
15	水	これから雨量増加	15	15	15
16	木		16	16	16
17	金		17	17	17
18	土		18	18	18
19	日		19	19	19
20	月	穀雨	遅霜注意(立夏まで)	20	20
21	火		21	21	21
22	水		22	22	22
23	木		23	23	23
24	金		24	24	24
25	土	遅霜注意	25	25	25
26	日		26	26	26
27	月		27	27	27
28	火		28	28	28
29	水		29	29	29
30	木		30	30	30

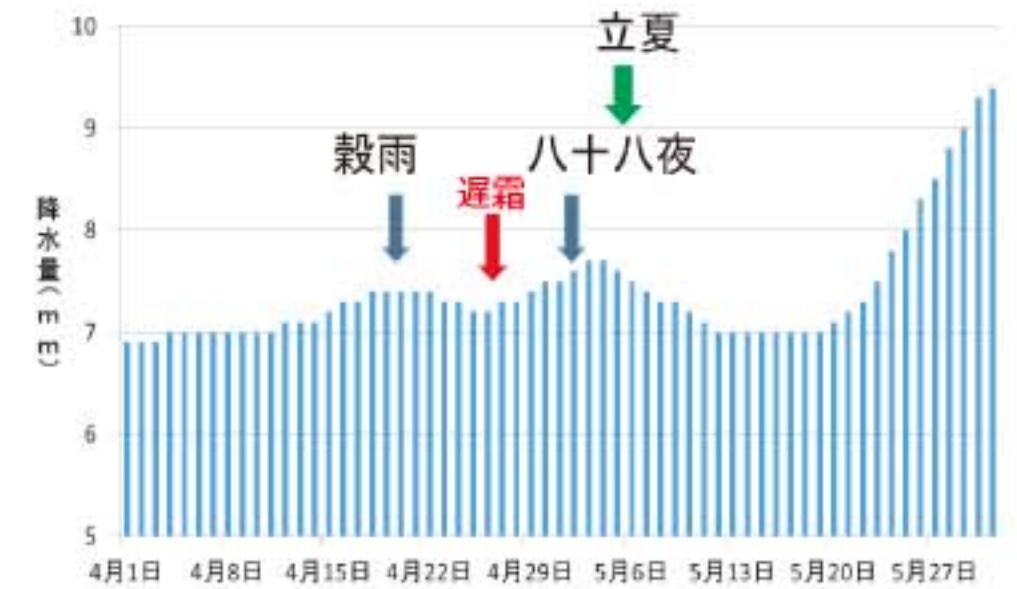
栽培管理のワンポイント

4月は害虫が動き 遅霜が来る

4月は「清明(せいめい)」という明るい節気から始まります。気候が穏やかで心地よい季節です。いろいろな生物にとっても心地よい時期なので、越冬してきた害虫類が活発に動き出すときだということを忘れてはいけません。圃場まわりの雑草対策や害虫の飛び込みに注意が必要です。寒さに弱いミナミキイロアザミウマでも、最高気温が20℃になると飛ぶと覚えておきましょう。

また、4月20日は「穀雨(こくう)」です。この雨で水田の準備が行われる少しまとまった雨です。ただ、この穀雨は、雨・晴れ・雨となります。この晴れのときに「遅霜」が来ます。次の立夏までは霜でなくても低温の被害が出る時期ですから、露地作のトンネル栽培や被覆栽培では天気予報をよく確認して被害が出ないようにしましょう。

【4月の雨と遅霜のタイミング】



memo

MIYAZAKI-GAP基準書 (青果物) №.1.1、2.3、3.4、6.15、6.22

食の安全は記録から！
トレーサビリティを意識した記録を実施しましょう！

万一が事故が発生した場合、被害を最小限に抑えるためには、農産物の回収と原因究明が不可欠です。そのためには、出荷した農産物から各工程の作業内容(ほ場名、栽培管理(防除、施肥、種苗管理など))を追跡できるように、これらの記録を適切に作成・保存することが重要です。



5

MAY
皐月

2026 / 令和 8 年



4	S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30		

6	S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30				



	二十四節気等	気象の変化	農業散布記録	施肥記録	収穫・出荷記録
1	金		1	1	1
2	土	遅霜注意	2	2	2
3	日		3	3	3
4	月		4	4	4
5	火	立夏	5	5	5
6	水	霜はほとんど降らない。露地作の種まき開始の目安	6	6	6
7	木		7	7	7
8	金		8	8	8
9	土		9	9	9
10	日		10	10	10
11	月		11	11	11
12	火		12	12	12
13	水		13	13	13
14	木		14	14	14
15	金		15	15	15
16	土		16	16	16
17	日		17	17	17
18	月		18	18	18
19	火		19	19	19
20	水		20	20	20
21	木	小満	この期間に梅雨に入る	21	21
22	金		22	22	22
23	土		23	23	23
24	日		24	24	24
25	月		25	25	25
26	火		26	26	26
27	水		27	27	27
28	木		28	28	28
29	金		29	29	29
30	土	平年梅雨入り	30	30	30
31	日		31	31	31

栽培管理のワンポイント

5月は露地作の作業のピーク

5月の最初の節気は「立夏(りっか)」です。この頃になると、霜が降ることはほとんどありません。トンネル栽培など保温栽培がなかった昔は、ここが露地作の種まきやかんじょの植え付けの目安でした。露地作は忙しくなります。段取りをよく確認しておきましょう。

ただし、5月末には梅雨入りします。平年並みなら5月30日です。梅雨入り直前に雨が多くなったり、梅雨入り発表直後は雨が少なくなったり、なかなか予定どおりに作業ができなくなります。梅雨は必ず来ますので、5月の早い時期に明渠(めいきょ)など排水路の整備や管理をしっかり行って準備しておきましょう。

5月になると、最高気温が20℃を超えてきます。安定的に害虫が飛来するようになります。露地作では、飼料作や緑肥作物を利用して、防風にも利用しますが、土着天敵のバンカープラントにもなりますので、可能な限り活用しましょう。

【風よけを兼ねる障壁作物】



【2024年の最高気温の変化】



memo

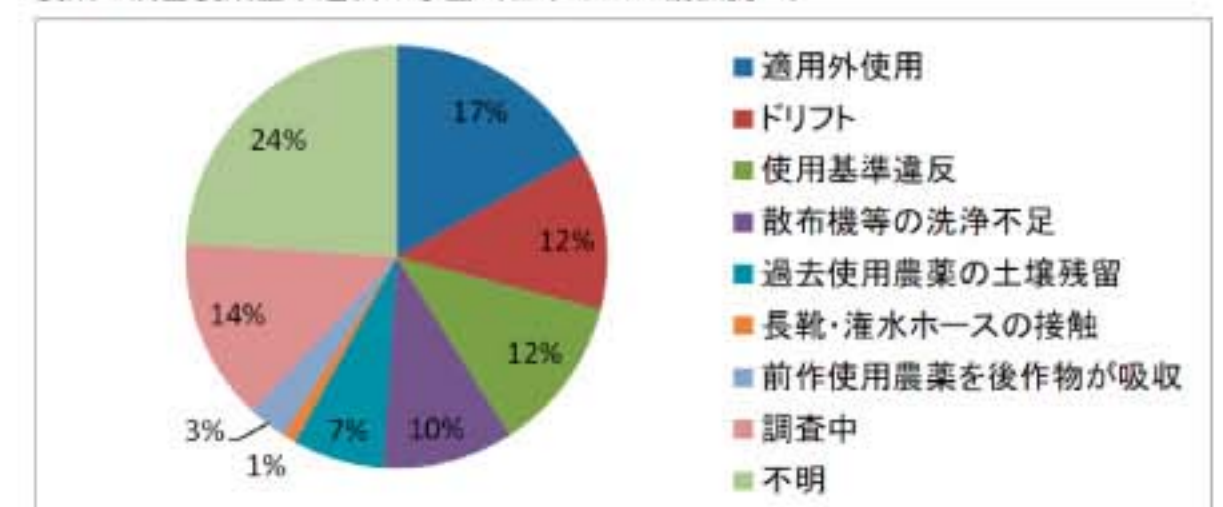
MIYAZAKI-GAP基準書 (青果物) №.6.2、6.6、6.7、6.8、6.9、6.11、6.12、6.13、6.14、6.18

残留農薬対策の徹底で食の安全を日々の食卓へ!

残留農薬基準違反を起こすと、商品回収・出荷停止となる可能性があります。発生リスクの高い工程を把握し、十分な対策を実施しましょう。

- ① 使用基準違反を防ぐため、防除暦や農薬使用計画に基づいた防除の実施
- ② 農薬を使用する際のラベルの確認
- ③ 農薬散布後の防除器具(タンク、ホース等)の洗浄
- ④ 農薬散布前の防除器具の点検
→機械の正常な稼働、ノズル等目詰まりは、適切に洗浄されているか
- ⑤ ドリフトの危険性の把握とその対策

農薬の残留農薬基準違反の原因 (日本GAP協会調べ)



6

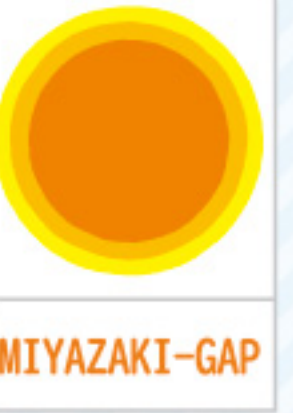
JUNE
水無月

2026/令和8年



5	S	M	T	W	T	F	S
						1	2
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							

7	S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30	31		



	二十四節気等	気象の変化	農業散布記録	施肥記録	収穫・出荷記録
1	月		1	1	1
2	火	雨の特異日(出現率67%)	2	2	2
3	水		3	3	3
4	木		4	4	4
5	金		5	5	5
6	土	芒種 最も早い日の出5:08 (6/19まで)	6	6	6
7	日		7	7	7
8	月	雨の特異日(出現率63%)	8	8	8
9	火		9	9	9
10	水		10	10	10
11	木		11	11	11
12	金		12	12	12
13	土		13	13	13
14	日		14	14	14
15	月		15	15	15
16	火		16	16	16
17	水	南中高度最も高い81.5°(6/26まで) 雨の特異日(出現率70%)	17	17	17
18	木	雨の特異日(出現率70%)	18	18	18
19	金	雨の特異日(出現率70%)	19	19	19
20	土		20	20	20
21	日	夏至 雨の特異日(出現率64%)	21	21	21
22	月	雨の特異日(出現率73%)	22	22	22
23	火	日長最長14時間15分 日の入りはもっと遅く19:24(7/8まで) 雨の特異日(出現率66%)	23	23	23
24	水	雨の特異日(出現率60%)	24	24	24
25	木	雨の特異日(出現率63%)	25	25	25
26	金		26	26	26
27	土		27	27	27
28	日	雨の特異日(出現率67%)	28	28	28
29	月		29	29	29
30	火		30	30	30

※雨の特異日は、お天気.com (https://www.otenki.com) の宮崎市の気象を参考にしています。

栽培管理のワンポイント

6月は梅雨

6月は梅雨です。雨が多いですが、夏至を迎え、梅雨の中休みの晴れになると、日差しが強くなります。

施設栽培では、栽培を終了することが多くなりますが、そのときこそ、秋からの次作に備えた作業の始まりです。残さの処分や太陽熱土壌消毒の準備を遅れずに始めましょう。もし、早く梅雨明けすると、作業がとてつらくなります。

梅雨の中休みの晴れに太陽熱土壌消毒の準備が間に合えば、消毒効果は十分です。消毒後に雨水の流入などがあれば消毒はやり直しですが、ここで消毒できれば、高い防除効果が期待できます。

作の終わりでホッとしたいところですが、この段取りは遅れないようにしましょう。

太陽熱土壌消毒をするときには、施設の隅々までしっかり覆うこと、また、施設内に雑草を残さないことが重要です。雑草は天然のクーラー代わりとなりますし、施設の隅に残った病害虫は、雨水がしみこんできたときなどに、圃場の中へ中へと入ってきます。隅々に注意を払いましょう。できるだけ、圃場の一回り外の雑草対策もしておきましょう。

【施設の太陽熱土壌消毒】



memo _____

整理・整頓は経営の基本!!

整理整頓は、GAP実践の基本となるとともに、生産性や品質、農作業安全の向上に繋がります。「整理・整頓・清掃・清潔・しつけ(5S活動)」を徹底し、継続的な職場改善を図りましょう。

- ① 整理: 必要なモノと不必要なモノを区別し、不必要なモノを処分する。
- ② 整頓: モノの置き場所を決め、ラベル等で明示することでいつでも、誰でもすぐに取り出せる状態にする。
- ③ 清掃: ほ場や農業機械の清掃・点検を行う。
- ④ 清潔: 整理・整頓・清掃を維持するためのルールをつくる。
- ⑤ 躰: 決められたルールを守り、5S活動を継続化する。

MIYAZAKI-GAP基準書 (青果物) №.5.8、5.12、5.13、5.15、5.17、5.19、5.20



7

JULY
文月

2026 / 令和8年



6	S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30				

8	S	M	T	W	T	F	S
							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					



	二十四節気等	気象の変化	農業散布記録	施肥記録	収穫・出荷記録
1	水		1	1	1
2	木	半夏生 大雨のころ。 雨の特異日(出現率60%)	2	2	2
3	金		3	3	3
4	土		4	4	4
5	日		5	5	5
6	月		6	6	6
7	火	小暑 これから処暑まで 気温は高止まり	7	7	7
8	水		8	8	8
9	木		9	9	9
10	金		10	10	10
11	土		11	11	11
12	日		12	12	12
13	月		13	13	13
14	火		14	14	14
15	水	平年梅雨明け	15	15	15
16	木		16	16	16
17	金		17	17	17
18	土		18	18	18
19	日		19	19	19
20	月		20	20	20
21	火		21	21	21
22	水		22	22	22
23	木	大暑 最も暑い期間に入る。 太陽熱土壌消毒の適期。	23	23	23
24	金		24	24	24
25	土		25	25	25
26	日		26	26	26
27	月		27	27	27
28	火		28	28	28
29	水		29	29	29
30	木		30	30	30
31	金		31	31	31

※雨の特異日は、お天気.com (https://www.otenki.com) の宮崎市の気象を参考にしています。

栽培管理のワンポイント

7月は梅雨明け 大雨と猛暑に注意

7月には梅雨が明けますが、平年並みなら7月15日ごろです。

梅雨が明ける直前、7月の上旬には半夏生(はんげしょう)になります。半夏生は、夏至から11日目(2026年は7月2日)から5日間を指す暦の雑節で、田植えを終わらせる目安です。この頃に半夏雨が降りますが、大雨になることが多いので、梅雨の中でもっとも警戒が必要です。畑の排水路の管理をしっかり行いましょう。

また、梅雨明けすると、最も日差しが強くなります。太陽熱土壌消毒の適期ですので、確実に効果をあげるためには、この時期を逃してはいけません。遅れると暑くて作業も大変になりますので、梅雨明けを逃さないように早めに準備しましょう。

梅雨明けすると、雨が降り続くということはありませんが、暑くなるので、山沿いでは夕立が多くなります。近年は、ゲリラ豪雨(雨量の多い雨)が発生するようになっていきましたので、梅雨明けしたからといって油断せず、排水路の管理に気を配りましょう。

【ゲリラ豪雨で水没した畝】



memo

農作業中の熱中症を予防しましょう!!

【熱中症の危険性】

- ・熱中症による死亡者は、農作業死亡事故全体の15.7%と増加傾向
- ・令和6年度の夏期(5~9月)において、農作業中に熱中症で救急搬送された人数は直近5年で最多

熱中症を予防するためにも...

20分おきに休憩・水分・塩分補給を!

熱中症になったときの応急措置

① 作業を中断



- (代表的な症状)
- ・汗をかかない、体が熱い
 - ・立ちくらみ、吐き気、頭痛
 - ・脱力感、判断力低下

② 応急処置



- ・涼しい環境へ避難
- ・衣服をゆるめ体を急速冷却
- ・水分・塩分を補給

③ 病院へ



応急処置をしても症状が改善しない場合は医療機関で診療を受けましょう!

(農林水産省「令和7年度熱中症対策研修テキスト」より抜粋)

8

AUGUST
葉月

2026/令和8年



7	S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

9	S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			



	二十四節気等	気象の変化	農業散布記録	施肥記録	収穫・出荷記録
1	土		1	1	1
2	日		2	2	2
3	月		3	3	3
4	火		4	4	4
5	水		5	5	5
6	木		6	6	6
7	金	立秋	このころ暑さのピーク。夕立が多くなる。	7	7
8	土		8	8	8
9	日		9	9	9
10	月		10	10	10
11	火		11	11	11
12	水		12	12	12
13	木		13	13	13
14	金		14	14	14
15	土		15	15	15
16	日		16	16	16
17	月	雨の特異日(出現率60%)	17	17	17
18	火	雨の特異日(出現率64%)	18	18	18
19	水		19	19	19
20	木		20	20	20
21	金		21	21	21
22	土		22	22	22
23	日	処暑	ここから気温が下がる。秋作の種まき開始の目安。	23	23
24	月		24	24	24
25	火		25	25	25
26	水		26	26	26
27	木		27	27	27
28	金		28	28	28
29	土		29	29	29
30	日		30	30	30
31	月		31	31	31

※雨の特異日は、お天気.com (https://www.otenki.com) の宮崎市の気象を参考にしています。

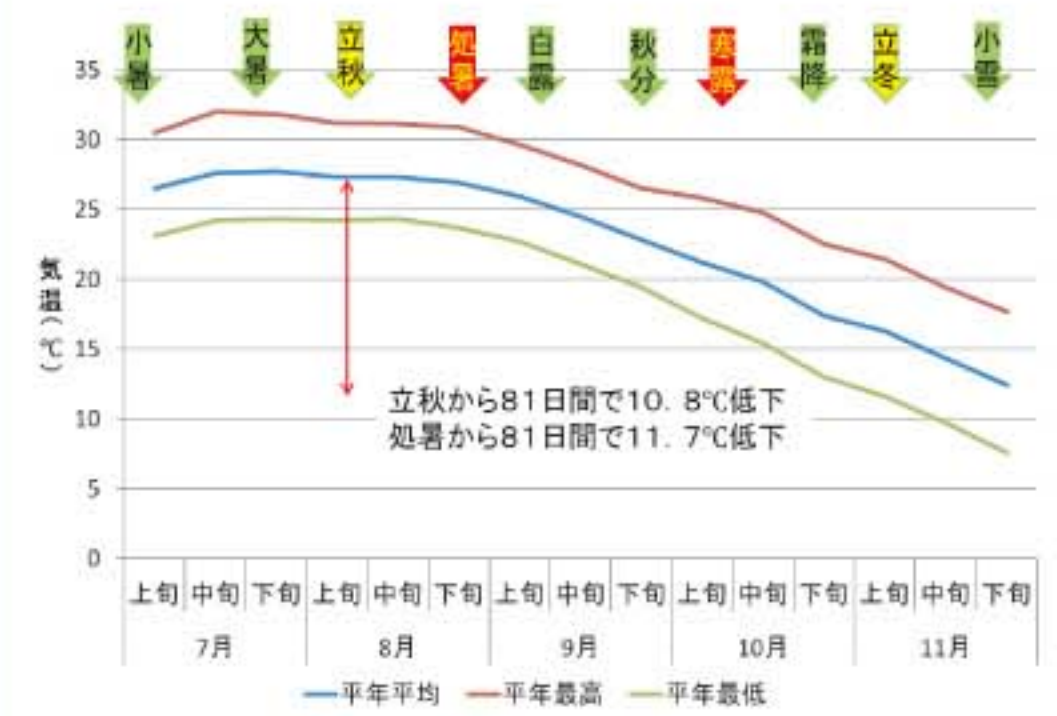
栽培管理のワンポイント

8月は暑いが処暑を過ぎると気温は下がる

8月は最も暑い時期ですが、お盆を過ぎ8月23日の「処暑(しょしょ)」を過ぎると、気温は下がり始めます。ここが秋作の播種を始める目安となります。

ただし、8月下旬に「八朔(はっさく)」すなわち旧暦の8月1日が来ます。現在の暦では、8月25日から9月25日頃です。この八朔は、「二百十日(にひゃくとおか)」と「二百二十日(にひゃくはつか)」と併せて、農家の三大厄日とされます。台風等の自然災害が多い日とされますので、雨への備えはしっかり行っておきましょう。露地作では明渠(めいきよ)など排水溝をしっかりと管理しておきましょう。

【秋の節気と気温の変化】

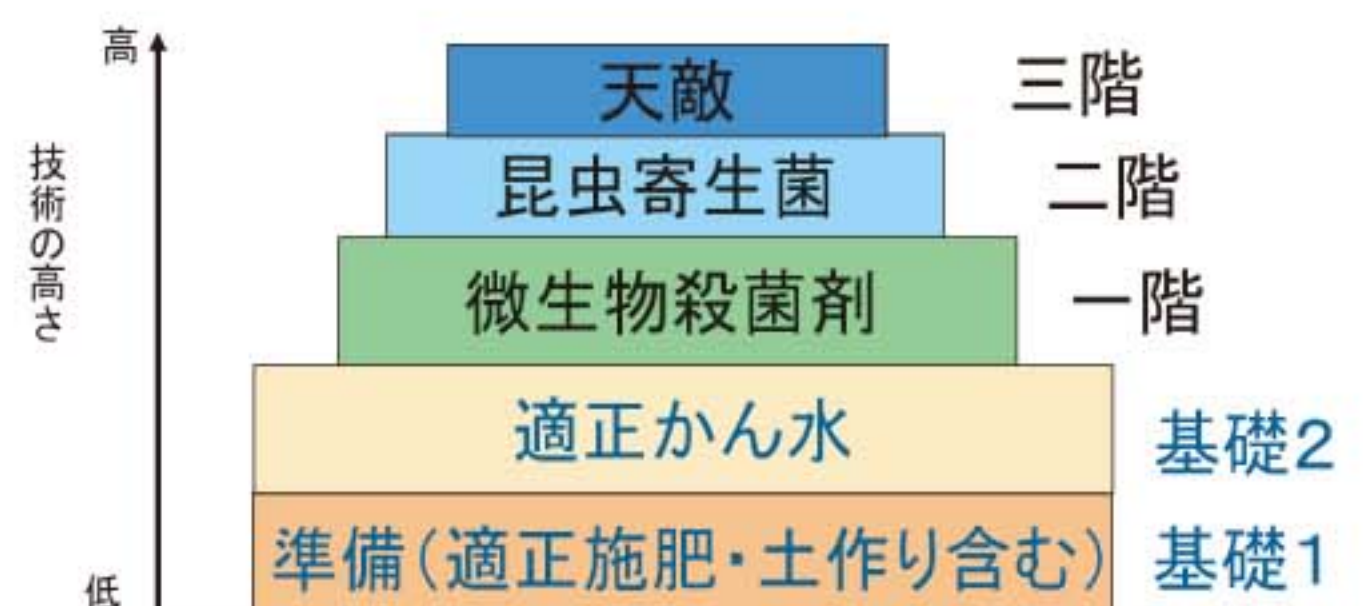


memo

土壌管理は栽培管理の基本!

土壌管理は、作物の生産性向上と同時に、環境への負荷の低減を図る上で、極めて重要です。適切に土壌管理を実施し、安定的な生産を図りましょう。

- ◆ 土壌診断を行い、その結果や地域の栽培暦等に基づいた施肥設計を実施する。
- ◆ 土壌の状態に合わせて堆肥などの有機物を施用する。
- ◆ 堆肥は、生産工程に関する情報を購入先等に確認するとともに、分析や書籍等により標準的な成分量を把握する。
- ◆ 肥料の使用については以下の内容を記録し、次作の計画等に活用する。
 - ① 施用日、② 施用したほ場・農作物、③ 施用肥料の名称、④ 施用面積、量



宮崎方式ICM

9

SEPTEMBER

長月

2026/令和8年



8

S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

10

S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31



	二十四節気等	気象の変化	農業散布記録	施肥記録	収穫・出荷記録
1 火	二百十日	台風が多い時期	1	1	1
2 水			2	2	2
3 木			3	3	3
4 金			4	4	4
5 土		雨の特異日(出現率60%)	5	5	5
6 日			6	6	6
7 月	白露	朝に霧が立つころ	7	7	7
8 火			8	8	8
9 水			9	9	9
10 木	二百二十日	台風が多い時期	10	10	10
11 金			11	11	11
12 土			12	12	12
13 日			13	13	13
14 月		雨の特異日(出現率60%)	14	14	14
15 火			15	15	15
16 水			16	16	16
17 木			17	17	17
18 金			18	18	18
19 土			19	19	19
20 日			20	20	20
21 月			21	21	21
22 火			22	22	22
23 水	秋分	秋雨のピーク	23	23	23
24 木		雨の特異日(出現率60%)	24	24	24
25 金			25	25	25
26 土			26	26	26
27 日			27	27	27
28 月			28	28	28
29 火			29	29	29
30 水			30	30	30

※雨の特異日は、お天気.com (https://www.otenki.com) の宮崎市の気象を参考にしています。

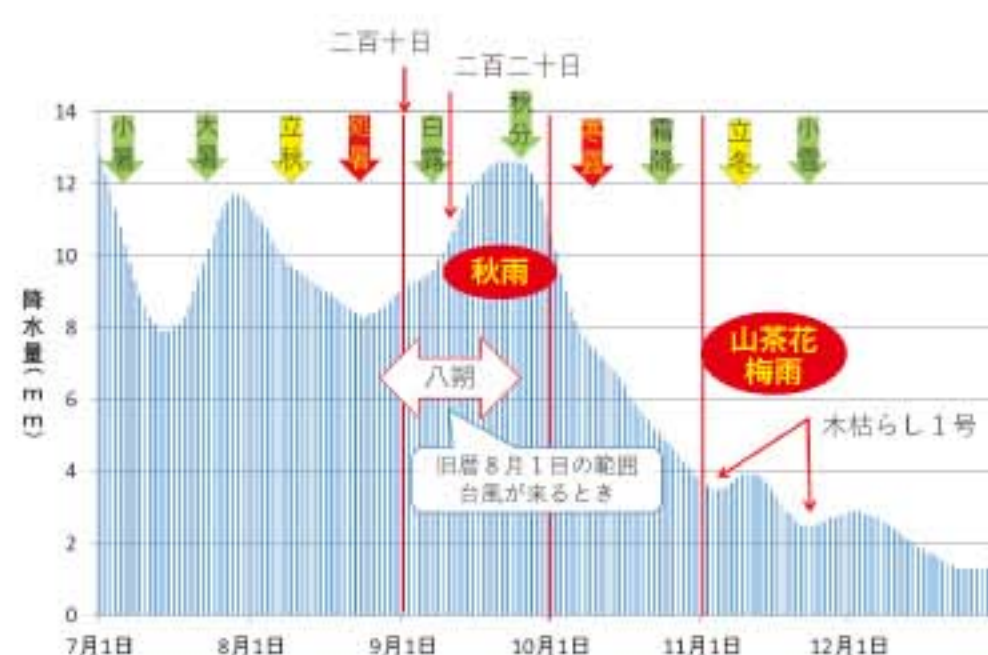
栽培管理のワンポイント

9月は秋雨のピークで台風も来る

9月に入ると徐々に気温が下がってきますが、忘れてはいけないことは秋雨の時期だということです。9月1日は「二百十日(にひゃくとおか)」9月10日は「二百二十日(にひゃくはつか)」で、台風などの自然災害が多い日とされますし、秋分の日前後は秋雨のピークです。雨と台風に対する備えをしっかり行いましょう。

また、施設作では定植時期になります。病虫害、特に害虫は苗を施設に持ち込むときに侵入してくる確率が最も高くなります。定植したら、害虫が見当たなくても、徹底して防除しましょう。害虫は、卵を防除するのが難しいので、1回薬剤散布をするだけでは卵が生き残ってしまいます。害虫の卵期間を考えて、連続防除をしましょう。

【秋の節気と降水量の変化】



※気象に関するデータは宮崎市のものです。

memo

MIYAZAKI-GAP基準書(青果物) №.4.7、4.8、4.9、5.16

9~10月は農作業安全月間! 対策を徹底し、事故のリスクを減らしましょう!

トラクター

- 事前に危険箇所を確認し、除草や障害物の除去を行う。
- 安全フレーム、シートベルトは必ず装着!
- 道路走行時は左右ブレーキを連結



草刈り機

- 飛散防止カバーの装着
- 作業前の異物・障害物の除去
- 傾斜地の足場の確保
- 作業中は15m以内に人を近づけない



10

OCTOBER
神無月

2026 / 令和8年



9	S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30				

11	S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30						



	二十四節気等	気象の変化	農業散布記録	施肥記録	収穫・出荷記録
1	木	晴れが多くなり始める。	1	1	1
2	金		2	2	2
3	土		3	3	3
4	日		4	4	4
5	月		5	5	5
6	火		6	6	6
7	水		7	7	7
8	木	寒露 このころに、気温が急に下がる日がある。ストレス注意。	8	8	8
9	金		9	9	9
10	土		10	10	10
11	日		11	11	11
12	月		12	12	12
13	火		13	13	13
14	水		14	14	14
15	木		15	15	15
16	金		16	16	16
17	土		17	17	17
18	日		18	18	18
19	月		19	19	19
20	火		20	20	20
21	水		21	21	21
22	木		22	22	22
23	金	霜降 気温の上下が激しく、霜注意報が出始めるころ。	23	23	23
24	土		24	24	24
25	日		25	25	25
26	月		26	26	26
27	火		27	27	27
28	水		28	28	28
29	木		29	29	29
30	金	日長は11時間。 2月14日と同じ。	30	30	30
31	土		31	31	31

栽培管理のワンポイント

10月は温度差寒波に注意しよう

10月に入ると晴れの日が多くなり、「寒露」のころに必ず寒波が来ます。この寒波は、急に温度差が生じるものです。人間も急に気温差が生じると風邪をひきますが、植物も環境に体を馴らす馴化(じゅんか)ができず、温度差のストレスを受けます。このストレスをまともに受けると、その作物の収量は100点ではなくなります。この寒露の頃の温度差対策はしっかり準備をしましょう。特に最低気温を高く管理するピーマンなどでは、暖房機の準備は寒露のころまでには終わらせましょう。

近年は、平年より高い気温で推移することも多くなっていますが、どこかで必ず「平年値」に戻ります。平年値になるだけで大きなストレスを受けることもありますから、天気予報に注意して、温度差対策をしておきましょう。

また、月末の「霜降」の頃には寒くなります。保温対策は絶対遅れないように準備しましょう。

【2024年の最低気温の変化】



※気象に関するデータは宮崎市のものです。

memo

MIYAZAKI-GAP基準書 (青果物) No.4.1、4.2、4.3、4.4、4.6

適切な雇用管理で働きやすい環境を!

労働条件が守られていない農場は、法令違反となるだけでなく、雇用者の不平不満が募り、食品安全や労働安全を脅かす事故につながる可能性があります。労働基準を遵守し、働きやすい職場をつくりましょう!

- **労働条件通知書**を交付し、その条件を遵守する。
- 労働条件を遵守していることがわかるように、**労働者名簿・賃金台帳・出勤簿(法定三帳簿)**を適切に管理する。
- 使用者と労働者の間で労働条件や労働環境等について定期的に意見交換を行う。

※法定三帳簿や労働条件通知書の様式は厚生労働省のHPからダウンロードできます。

帳簿の名称	記載項目	保存期間・記録日
労働者名簿 (第107条)	①労働者氏名、②生年月日、③履歴、④性別、⑤住所、⑦従事する業務の種類、⑧雇入年月日、⑨退職や死亡年月日、子の理由や原因	3年 労働者の死亡・退職・解雇の日
賃金台帳 (第108条)	①労働者氏名、②性別、③賃金の計算期間、④労働日数、⑤労働時間数、⑥時間外労働時間数、⑦深夜労働時間数、⑧休日労働時間数、⑨基本給や手当等の種類と額、⑩控除項目と額	3年 労働者の最後の賃金について記入した日
出勤簿等 (第109条)	①出勤簿やタイムレコーダー等の記録、②使用者が自ら始業・終業時刻を記録した書類、③残業命令書及びその報告書、④労働者が記録した労働時間報告書	3年 労働者の最後の出勤日

11

NOVEMBER
霜月

2026/令和8年



10	S	M	T	W	T	F	S
					1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30	31	

12	S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30	31			



二十四節気等	気象の変化	農業散布記録	施肥記録	収穫・出荷記録
1 日	木枯らし1号注意	1	1	1
2 月		2	2	2
3 火		3	3	3
4 水		4	4	4
5 木		5	5	5
6 金		6	6	6
7 土	立冬 このころから サザンカ(山茶花) 梅雨	7	7	7
8 日		8	8	8
9 月		9	9	9
10 火		10	10	10
11 水		11	11	11
12 木		12	12	12
13 金		13	13	13
14 土		14	14	14
15 日	平年値で宮崎市の 平均気温が10℃	15	15	15
16 月		16	16	16
17 火		17	17	17
18 水		18	18	18
19 木		19	19	19
20 金		20	20	20
21 土		21	21	21
22 日	小雪 施設栽培で うどんこ病が出るころ。	22	22	22
23 月		23	23	23
24 火		24	24	24
25 水		25	25	25
26 木		26	26	26
27 金		27	27	27
28 土	最も早い日の入 17:10(12/9まで)	28	28	28
29 日		29	29	29
30 月		30	30	30

栽培管理のワンポイント

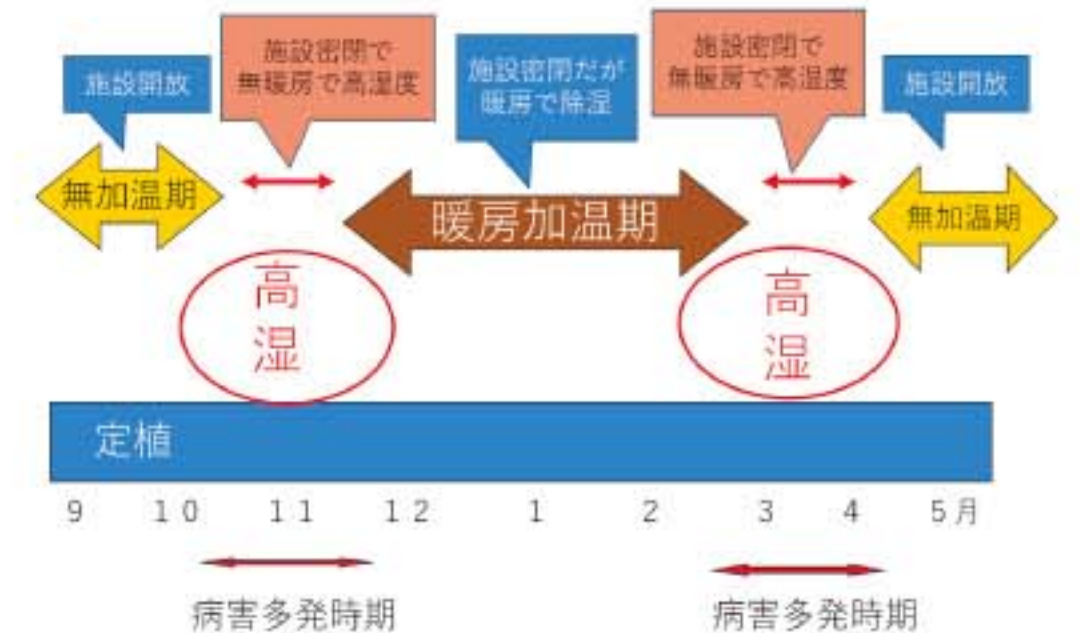
11月はさざんか梅雨

11月に入ると雨が降るようになります。晴れと雨を繰り返して、晴れの期間中に木枯らし1号が吹きます。強風が吹くことを予定しておきましょう。

曇天と小雨が続く時期で、10月の晴れで勢いがついている植物の生育にブレーキをかけます。秋に定植した果菜類では、着果負担がかかってくるタイミングです。うどんこ病が出やすい時期でもあります。曇天と着果負担による草勢低下に対応するため、天気を見ながら肥料の葉面散布を実施しましょう。

また、気温が下がってきても、暖房機が動かない日何日か出てきます。曇天と着果負担で弱っているところで植物の濡れが多くなると、病害の発生が多くなってきます。施設作では11月の病気を防ぐための大きな山場ですので、殺菌剤の散布を遅れないように実施しましょう。

【暖房機の稼働と病害発生のイメージ】



memo

農作物の衛生管理を行い、食中毒を防止!

水の管理

栽培に使用する水

- ◆ かん水や農業散布に使用する水質を確認する。(水の濁りや異臭等)
- ◆ 収穫1週間以内に使用する水は飲用水や水質検査で安全性を確認した水を使用するように努める。

収穫物に使用する水

- ◆ 水道水以外を使用する場合は、必ず水質検査で安全性を確認した水又は消毒した水を使用する。

食中毒等が発生すると消費者への健康被害に加え、原因となった食品への信頼が失われ、大きな経営損失となる可能性があります。農作物の汚染・事故が起こりやすい工程や要因を把握し、ルールづくりと対策を徹底しましょう。



12

DECEMBER
師走

2026/令和8年



11	S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30						

1	S	M	T	W	T	F	S
						1	2
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							



	二十四節気等	気象の変化	農業散布記録	施肥記録	収穫・出荷記録
1	火		1		1
2	水	平年の初霜初日	2		2
3	木		3		3
4	金		4		4
5	土		5		5
6	日	平年の結氷初日 晴れの特異日(出現率80%)	6		6
7	月	大雪 さざんか梅雨の終わりごろ。 日長は短くても、全天日射量が増え始める。	7		7
8	火		8		8
9	水		9		9
10	木		10		10
11	金		11		11
12	土		12		12
13	日		13		13
14	月		14		14
15	火		15		15
16	水		16		16
17	木		17		17
18	金	日長最短10時間4分(12/25まで) 南中高度最も低い34.7°(12/25まで)	18		18
19	土	晴れの特異日(出現率80%)	19		19
20	日		20		20
21	月		21		21
22	火	冬至 晴れの特異日(出現率80%)	22		22
23	水	晴れの特異日(出現率80%)	23		23
24	木	晴れの特異日(出現率80%)	24		24
25	金	平年値で油津の 平均気温が10°C	25		25
26	土		26		26
27	日		27		27
28	月		28		28
29	火	晴れの特異日(出現率80%)	29		29
30	水		30		30
31	木		31		31

※晴れの特異日は、お天気.com (https://www.otenki.com) の宮崎市の気象を参考にしています。

栽培管理のワンポイント

12月は日長が最も短いが…

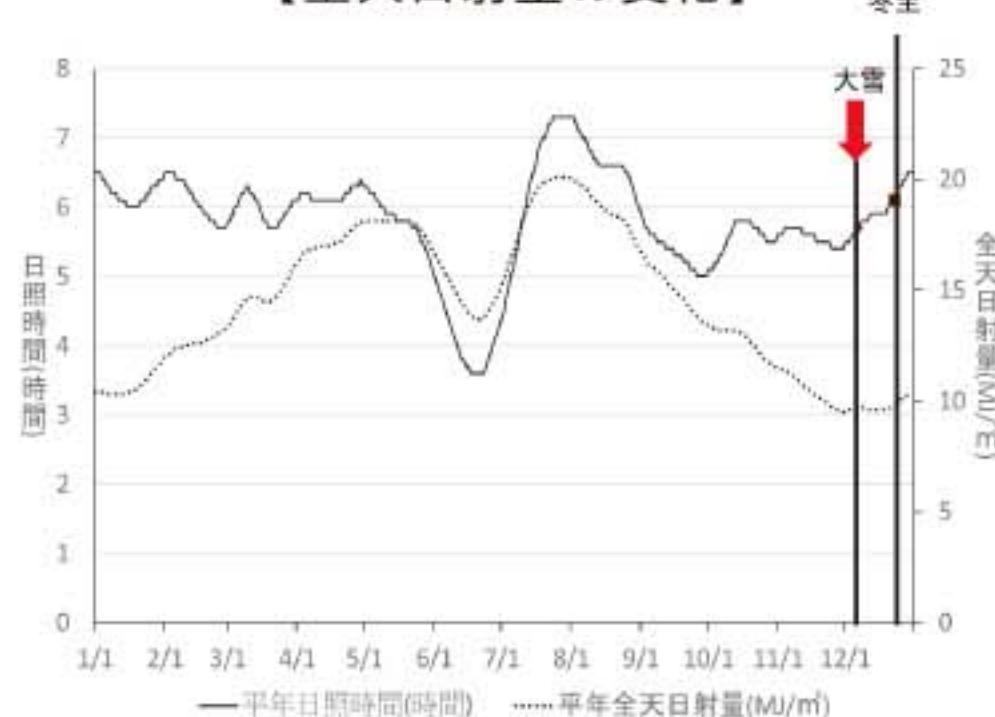
12月下旬には「冬至」を迎え、一年で最も日長が短い時期です。

しかし、さざんか梅雨が終わり、晴れの日が多くなってきますので、太陽のエネルギーである全天日射量は増えてきます。平年値では11月29日から12月3日が最も少なく、12月20日頃から明らかに増加し始めます。つまり、太陽のエネルギーは「大雪」のころから増え始めます。

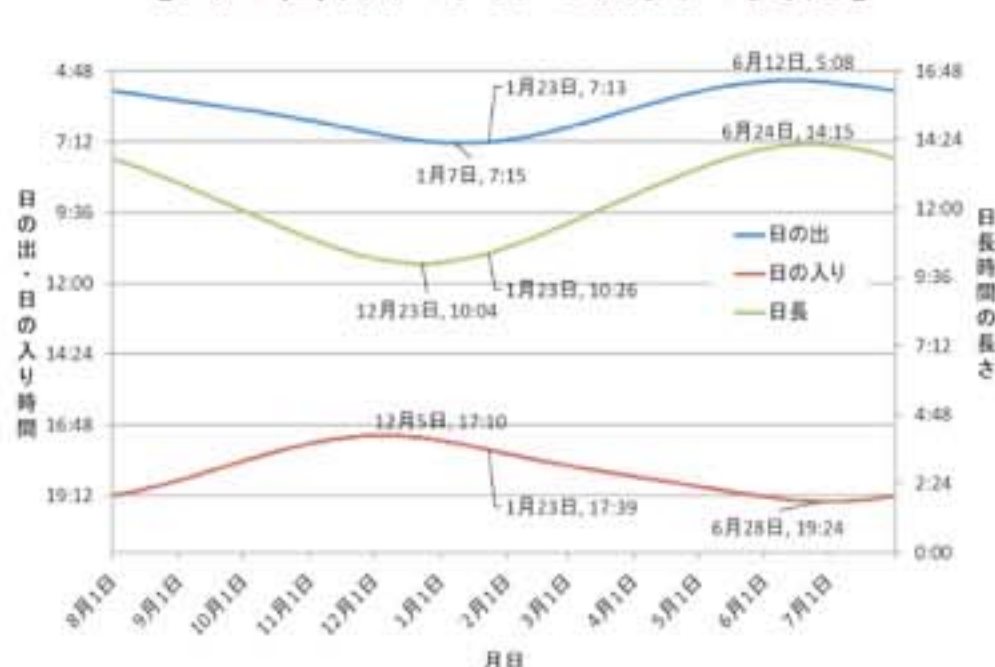
肥料切れ、水切れにならないように、注意しながら管理しましょう。

また、日の入りは12月5日頃が最も早くなります。日々の作業も遅れないようにしましょう。

【全天日射量の変化】



【日の出、日の入りと日長の変化】



※気象に関するデータは宮崎市のものです。

memo

MIYAZAKI-GAP基準書 (青果物) №.5.1、5.2、5.9、5.10、5.11、5.13、5.15

適切な衛生管理を行い、食中毒や異物混入を防止！ 収穫・出荷時

①作業従事者

- ✦ 風邪症状がある作業者は、農作物に触れる作業から外す。
- ✦ 作業前の手洗いの徹底。
- ✦ アクセサリー等の持ち込み禁止をルール化する。

②農作物と接触する資材や器具、容器

- ✦ 使用前後に、数量や損傷・汚染等の状態を確認する。
- ✦ 使用後は清掃・点検を行う。
- ✦ 必ず所定の場所に保管する。
※農薬や廃棄物などの汚染源の近くに置かない



農林水産省「国際水準GAPガイドライン」より抜粋

③農作物取扱施設

- ✦ 有害生物(ねずみや虫等)侵入・発生防止の対策を実施する。
- ✦ 作業後は、施設内の整理・整頓及び清掃を行う。
- ✦ 作業場所から離れた場所で、飲食や喫煙をする。
- ✦ 低温保管施設は、設定した温度が保たれているか確認する。

1

JANUARY
睦月

2027/令和9年



12	S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30	31			

2	S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28							



	二十四節気等	気象の変化	農業散布記録	施肥記録	収穫・出荷記録
1 金			1	1	1
2 土		最も遅い日の出 7:15 (1/17まで)	2	2	2
3 日			3	3	3
4 月			4	4	4
5 火	小寒	地温は上がり始める。 かん水量を増やし始める。	5	5	5
6 水			6	6	6
7 木			7	7	7
8 金			8	8	8
9 土			9	9	9
10 日		晴れの特異日 (出現率80%)	10	10	10
11 月			11	11	11
12 火			12	12	12
13 水			13	13	13
14 木			14	14	14
15 金			15	15	15
16 土			16	16	16
17 日			17	17	17
18 月		晴れの特異日 (出現率80%)	18	18	18
19 火			19	19	19
20 水	大寒	最も寒い期間に入る。	20	20	20
21 木			21	21	21
22 金			22	22	22
23 土			23	23	23
24 日		全天日射量11(MJ/m ²)、 11月9日と同じ。	24	24	24
25 月			25	25	25
26 火			26	26	26
27 水		晴れの特異日 (出現率80%)	27	27	27
28 木			28	28	28
29 金		晴れの特異日 (出現率83%)	29	29	29
30 土			30	30	30
31 日			31	31	31

※晴れの特異日は、お天気.com (https://www.otenki.com) の宮崎市の気象を参考にしています。

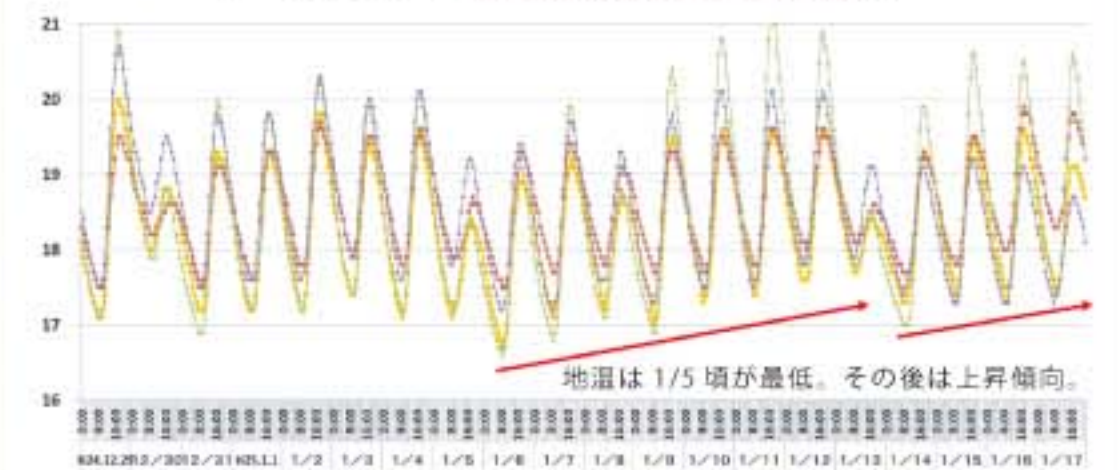
栽培管理のワンポイント

1月になったら 「かん水」と「追肥」

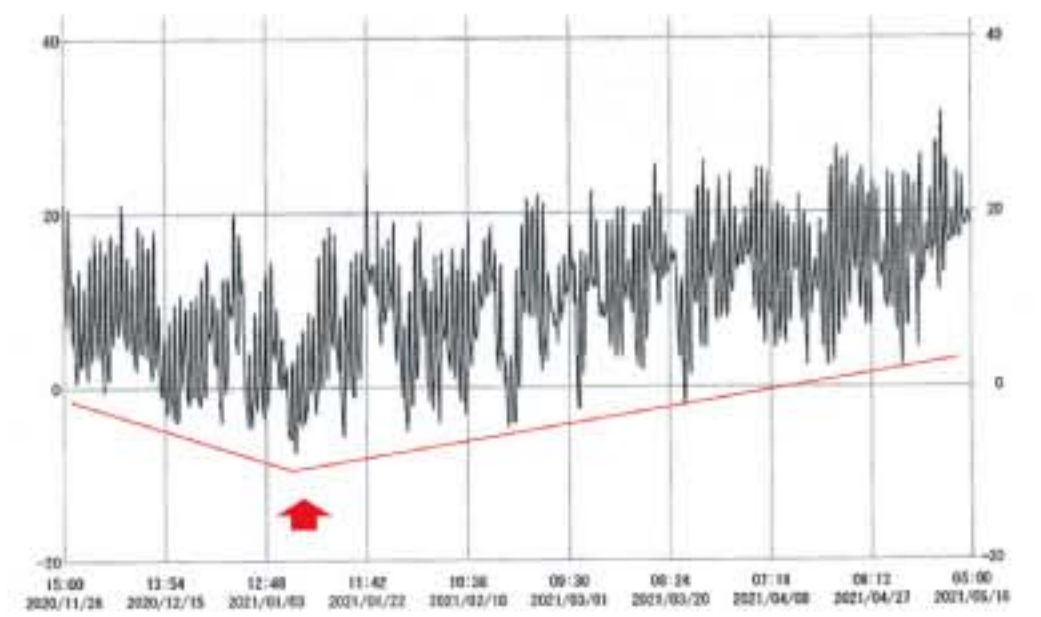
冬至をすぎて日長が長くなり、1月上旬から地温が上昇します。施設栽培では、かん水量を増やし、春に向けて追肥を増やし始めるころです。露地作でも地温は上がり始めますので、同様に考えましょう。

また、1月2日頃から7日までは最も日の出が遅くなります。それからは早くなってきますので、早朝加温の開始・終了時間を定期的にチェックして、変更しましょう。

【キュウリ栽培施設の地温】



【麦畑の地温】



memo

持続可能な農業経営の基本はリスク管理!?

農業経営において、損失を最小限に留めるためにも潜在的な脅威に対するリスク管理は非常に重要です。経営に潜むリスクは経営環境によって異なるため、農場特有のリスクの特定・評価を行い、効率的な対策に繋げましょう。

① リスクの特定

各工程ごとに過去の経験、従業員の見解、他産地・生産者の事例などを参考にリスクを洗い出す。

② リスクの評価

「リスクの重大性」×「発生確率」で評価。評価したリスクをもとに対策する優先順位の決定。

③ リスク対策と検証

特にリスクが高いと判断したものは農場ルールを作成。年1回以上、検証を行い現状に即したものにします。

MIYAZAKI-GAP 基準書 (青果物) №.3.1、3.2、3.3



2

FEBRUARY
如月

2027/令和9年



1	S	M	T	W	T	F	S
						1	2
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							

3	S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31				



	二十四節気等	気象の変化	農業散布記録	施肥記録	収穫・出荷記録
1 月		1	1	1	1
2 火		2	2	2	2
3 水		晴れの特異日(出現率80%) 3	3	3	3
4 木	立春	立春はこれ以上は寒くならないという意味 4	4	4	4
5 金		晴れの特異日(出現率80%) 5	5	5	5
6 土		6	6	6	6
7 日		7	7	7	7
8 月		8	8	8	8
9 火		9	9	9	9
10 水		10	10	10	10
11 木		11	11	11	11
12 金		12	12	12	12
13 土		13	13	13	13
14 日		日長は11時間。10月30日と同じ。 14	14	14	14
15 月		油津の平均気温10℃虫が動き出すころ 15	15	15	15
16 火		16	16	16	16
17 水		17	17	17	17
18 木		18	18	18	18
19 金	雨水	雨量が増加し始める 19	19	19	19
20 土		20	20	20	20
21 日		21	21	21	21
22 月		22	22	22	22
23 火		23	23	23	23
24 水		24	24	24	24
25 木		宮崎市の平均気温10℃虫が動き出すころ 25	25	25	25
26 金		26	26	26	26
27 土		27	27	27	27
28 日		28	28	28	28

※晴れの特異日は、お天気.com (https://www.otenki.com) の宮崎市の気象を参考にしています。

栽培管理のワンポイント

2月の中旬からは雨が増える

宮崎は12月中旬から2月の中旬までの雨は少なく、晴れが多いので冬期の施設園芸に有利ですが、2月の節気である「雨水(うすい)」頃から雨が増えます。それまでの晴れで収量が増えてきているところでの雨ですから、草勢管理をしっかりとしないと、2月下旬から病害が増えてきます。病害予防と曇天対策として肥料の葉面散布を行うなど、草勢管理をしっかりと行いましょう。

また、2月中～下旬には沿海部の平均気温が10℃になり、害虫類が増殖を始めます。3月の啓蟄までには、圃場周囲の雑草対策をして、春に害虫類が侵入して来ないようにしましょう。

【節気と春の雨量の変化】



memo

従業員など関係者へのルールの周知や教育訓練を行い、農場管理力をUP!

リスク対策等で作成した農場のルールは作っただけでは意味がありません。家族や従業員がそのルールに従って作業をすることで、食品安全や労働安全が確保されます。

収穫物を扱うための衛生管理手法や機械操作等、作業者が実践できるように教育や訓練を実施しましょう。

特に、資格が必要な作業は必ず有資格者が作業を担当するとともに、危険を伴う作業については、十分訓練を受けた熟練者に限定する等、作業者が安全に働ける仕組みづくりをしましょう!

また、GAPの取組について自己点検を実施するとともに、定めたルールについては定期的に見直しを行いましょう。

3

MARCH
弥生

2027/令和9年

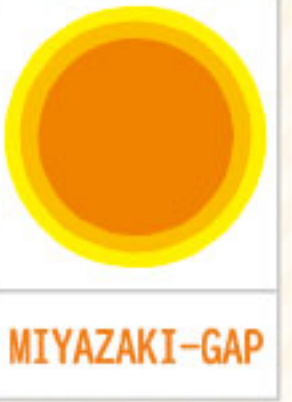


2

S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

4

S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	



	二十四節気等	気象の変化	農業散布記録	施肥記録	収穫・出荷記録
1 月		1	1	1	1
2 火		2	2	2	2
3 水		3	3	3	3
4 木		4	4	4	4
5 金		5	5	5	5
6 土	啓蟄	施設栽培でうどんこ病が増え始めるころ	6	6	6
7 日		7	7	7	7
8 月		平年の結氷終日	8	8	8
9 火		9	9	9	9
10 水		晴れの特異日(出現率70%)	10	10	10
11 木		11	11	11	11
12 金		12	12	12	12
13 土		13	13	13	13
14 日		14	14	14	14
15 月		15	15	15	15
16 火		16	16	16	16
17 水		17	17	17	17
18 木		18	18	18	18
19 金		平年の霜の終日	19	19	19
20 土		20	20	20	20
21 日	春分	菜種梅雨のピーク。気温の変化が激しく、害虫の飛び込みもあるころ。	21	21	21
22 月		22	22	22	22
23 火		23	23	23	23
24 水		24	24	24	24
25 木		25	25	25	25
26 金		26	26	26	26
27 土		27	27	27	27
28 日		28	28	28	28
29 月		29	29	29	29
30 火		30	30	30	30
31 水		31	31	31	31

※晴れの特異日は、お天気.com (https://www.otenki.com) の宮崎市の気象を参考にしています。

栽培管理のワンポイント

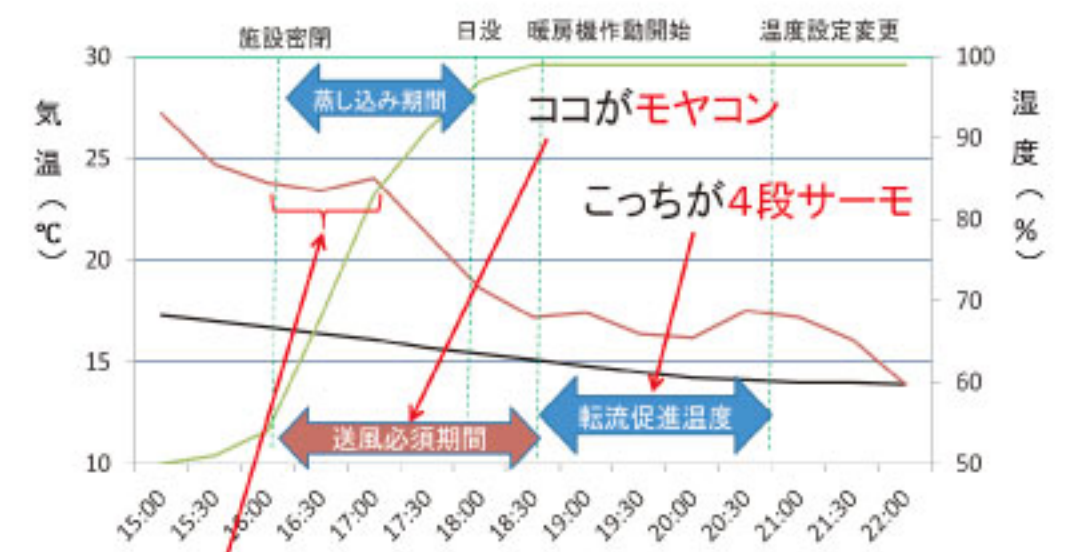
3月は暖房機の調整と換気

3月は最低気温が上がってきます。夜に暖房機が動かないものの、施設を開けっぱなしにしてよいほど暖かくないという日があります。施設は閉まっても、暖房機が動かない日は、病害が発生しやすい、湿度の高い環境が夜通し続きます。意識的に暖房機を動かしましょう。

また、3月はまだ気温は低いです。日没時間は遅くなっていきます。夕方の気温が低く、施設を早く閉め切りますが、まだ西に太陽の光があります。そのため、施設を閉めてから日没までの間に、一度施設内の気温は高くなります。そこで施設内の空気が水を吸い込みます。しかし、すぐ日没になりますから気温が下がって、吸い込まれた水が放出され、植物が濡れます。植物の転流促進で暖房機が動くのはもっと後ですし、ギリギリ暖房機が動かない気温で翌日を迎えることもある時期です。

日没の少し前に換気をしましょう。また、日没前後には意図的に暖房機を動かしましょう。

【施設内の温度変化】



※気象に関するデータは宮崎市のものです。

memo

病害虫や雑草が発生しにくい栽培管理を!!

近年は気候変動により病害虫の防除が難しくなっており、化学農薬だけに頼らない総合的な病害虫防除(IPM)が重要です。これから気温が上がり、病害虫が発生しやすい時期になります。「予防」・「判断」・「防除」の3つの取組を基本に、病害虫が発生しにくい環境を作りましょう!

〈予防〉

土づくりと適正な施肥管理

作物残渣や周辺雑草等の除去
防虫ネットや粘着板の設置 等



〈判断〉

ほ場の観察

発生予察情報の活用 等



〈防除〉

農業のローテーション散布

天敵や微生物資材等の活用
発生株や被害果の除去 等

